

講義・演習概要 (シラバス)

第1部課程第120期 (平成25年4月9日～平成25年9月4日)

課 目 名	今後の地方税財政改革の展望
時 限 数	2時限
担 当 講 師	<p>東京大学名誉教授 神野 直彦 <プロフィール></p> <p>1969年 東京大学経済学部卒業 1969年 日産自動車株式会社入社 1981年 東京大学大学院博士課程修了 1983年 大阪市立大学経済学部助教授 1992年 東京大学経済学部教授 2003年 東京大学大学院経済学研究科長・経済学部長 2008年 総務省地方財政審議会会長</p>
ね ら い	<p>近年の分権改革の進展や社会保障と税の一体改革、さらには東日本大震災の影響により、地方税財政改革のゆくえは不透明であるが、地方公共団体の基盤をなす地方税財政制度が安定的に運営されることは、行政活動を支えるうえで重要である。</p> <p>本講義では、このような現状と課題を取り上げて、今後の地方税財政改革の展望についての理解を深めることをねらいとする。</p>
講 義 概 要	<p>地方財政とは何かという基礎を確認し、現在の「危機」の時代における地方財政の使命を考えていきたい。</p> <p>「点」には面積も長さもない。ただ位置だけを示している。人びとは生きていくうえで妥協をせざるを得ないけれども、その人間をその人間たらしめている「点」を失えば妥協ではない。「点」を失わない限りにおいて、妥協をすべきなのである。</p> <p>財政の使命は、「危機」を解消することにある。日本は「百年に一度のTSUNAMI」といわれたリーマンショック以来の危機に加えて、「津波」という危機に襲われた。こうした「危機」の時代には、財政の「点」を見失わずに、地方財政が未来への船出を目指さなければならない。</p>
受講上の注意	特になし
使用教材	特になし
効果測定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	なし